

「介護事業者と地域社会との協働による 地域生活支援サービスの創出を考える」

平成29年3月11日(土) 於：ハートンホール日本生命御堂筋ビル12階

在宅介護事業者の全国団体である介護事業者協議会（略称：民介協）では、本年度、厚労省の老健事業の補助金を活用し、介護事業者と地域社会との協働による新たな生活支援・介護予防サービスの創出のあり方について調査研究を実施しております。このたび、同研究成果に関するご報告を兼ねた講演会を3月に大阪市で開催いたします。

各自治体における「介護予防・日常生活支援総合事業」への取組みが活発化する中、民間事業者による地域の実態に即した生活支援等サービス創出への期待も高まりを見せています。新総合事業への介護事業者の持つノウハウの活用、介護事業者としての地域貢献や本業である介護保険サービスとの相乗効果の実現などにご関心のある皆様の参加をお待ちしております。

○日時	平成29年3月11日(土)13時～ ※受付は12時半から開始いたします。	時 間	プログラム
○会場	ハートンホール日本生命御堂筋ビル12階 会議室「マーガレット」 (大阪市中央区南船場4-2-4 日本生命御堂筋ビル12階)	12:30～	受付開始
○定員	105名（先着順）	13:00～13:10	開会挨拶（民介協 理事長 佐藤 優治） （司会進行：民介協 関西地区理事 内田 幹也）
○参加費	民介協会員・非会員とも無料	13:10～14:30	■基調講演 「地域生活支援サービスの開発を通じた介護事業イノベーション」 東北福祉大学 大学院総合福祉学研究所 小笠原 浩一 教授
○対象	<ul style="list-style-type: none"> 介護事業の経営者、事業所管理者の方 介護事業所の現場で働く職員の方 新総合事業への取組みに問題意識をお持ちの行政関係者の方 福祉や地域づくりにご関心のある学生や一般の方 ※ 当日ご参加をいただいた皆様には、当日、老健事業の成果冊子をお渡しいたします。	14:40～15:45	■実践事例報告（タイトルは仮称です） 「民間事業者による地域づくり・まちづくりへの挑戦」 （45分） (株)東住吉介護センター 代表取締役 建林 典夫 氏 「うねび会の地域貢献事業」 （20分） (社福)うねび会 理事長 酒井 宏和 氏
		15:45～16:00	民介協からの情報提供 閉会挨拶（民介協 関西地区理事 三木 拓哉）

◆基調講演 講師

東北福祉大学 大学院総合福祉学研究所 教授・経済学博士
小笠原 浩一 先生

専門分野は介護経営、サービス・イノベーション、福祉政策など。埼玉大学経済学部教授、タイ王国チェラロンコーン大学大学院労働・人的資源管理国際コース招聘教授などを経て現職。日本介護経営学会副会長、日本介護福祉経営人材教育協会理事など。著書に『介護イノベーション』『地域医療・介護のネットワーク構想』『災害復興からの介護システム・イノベーション』など多数。



◆「実践事例報告」報告者

全国介護事業者協議会 会員
株式会社東住吉介護センター 代表取締役 建林 典夫 氏

平成14年同社入社。訪問介護管理者等を経て、同19年代表取締役就任。東住吉区介護保険関係者連絡会の議長や地元商店街の専務理事などを兼任。地域で育った恩返しを「まちづくり」にの思いから、旅行会社と連携したトラベルヘルパーやデイサービスの空き時間を活用した「うたごえクラブ」を開催。同区の介護事業者が大阪・日本の「住みよい街づくり」の核になっていけるよう、自ら地域の声を聞き、地域と共に生きていく会社づくりを目指す。



■本件のお問い合わせ先・お申込み先

一般社団法人 『民間事業者の質を高める』全国介護事業者協議会（略称：民介協）

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3 兎谷ビル3階

TEL：03-5289-4381 FAX：03-5289-4382 電子メールアドレス：info@minkaikyo.info

「介護事業者と地域社会との協働による地域生活支援サービスの創出を考える」
参加申込書 (平成29年3月3日(金) 必着)

貴社名		ご連絡先	TEL: FAX:
ご住所			

参加される方全員のご役職とお名前をご記入ください
 また記入欄が不足する場合、本用紙をコピーしてお使いください。

	講演会参加者 ご役職・お名前		講演会参加者 ご役職・お名前
1		5	
2		6	
3		7	
4		8	

◆会場の周辺地図（会場は「ハートンホール」（日本生命御堂筋ビル12階）です）

